

広島市立広島市民病院 外来診療担当医表

平成19年8月1日現在

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
総合診療科	1診	荒木	井上	水野	山崎	河越
	2診	住吉	岡本	石原	中川	能祖
リウマチ・膠原病科	3診	山西	山西	—	山西	山西
	4診	小熊	小熊	—	小熊	小熊
整形外科	1診	奥原	大坪	西川	石田	曾田
	2診	西川	石田	田尻	曾田	大坪
	3診	—	—	—	—	奥原
放射線科	午前	1診	影本	影本	伊東	伊東
		2診	—	—	浦島	浦島
	午後	1診	伊東	影本	伊東	伊東
		2診	浦島	西原	西原	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
外科	1診	高倉	二宮	大野	高倉	二宮
	2診	原野	小島	塩崎	西崎	青木
皮膚科	4診	—	江草	江草	江草	—
	5診	内藤	内藤(初診)	内藤	内藤(初診)	山田
	6診	戸井(初診)	戸井(初診)	戸井(初診)	戸井(初診)	戸井(初診)

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診	中川	荒木	能祖	水野	荒木
	2診	白神	大江	岡本	植松	植木
	3診	—	—	岩堂	黒目	—
	4診	中園	高沢	山崎	—	山崎
	7診	野田	野田	—	—	野田
	8診	—	水木	志和	—	—
	9診	水木	河村	河村	水木	河村

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
呼吸器科	1診	安里	岩本	住吉	—	満田
呼吸器外科	1診	妹尾	—	松浦	片岡	妹尾
循環器科	1診	井上	嶋谷	河越	井上	丸橋
	2診	石原	栗栖	香川	嶋谷	中間
心臓血管外科	1診	柚木	大庭	—	久持	吉田

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
歯科	初診	中野	澤木	中野	佐藤	澤木
		澤木	佐藤	澤木	澤木	中野
	再診	鄭	鄭	鄭	鄭	鄭
		外来予約	外来予約	外来予約	外来予約	外来予約

各診療日の担当医師につきましては、医師の異動等により変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
眼科	午前	1診	原	—	原	原
		2診	寺田	寺田	橋本	—
	午後	3診	細川	細川	—	—
		4診	—	—	山根	山根

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科	初診	1診	井口	江草	綾田	野田
	再診	2診	綾田	堀(1・3・5週)	江草※1	井口
		3診	野田	野田(2・4週)	堀(2・4週午前中)	—

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
形成外科	午前	1診	身原	木村	西山	身原
		2診	—	西山	—	西山
	午後	3診	—	—	—	西井

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
小児科	1診	伊豫田	岡崎	伊豫田	村尾	伊豫田
	2診	村尾	小川	加藤	小川	古川
	3診	鎌田	小池	鎌田	中川	木口
	4診	秋山	手術	今治	高田	手術

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
産婦人科	1診	吉田	野間	吉田	伊藤	小坂
	2診	野間	伊藤	早田	依光	石田
	午後予約	—	検査	—	検査	辰本

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
脳神経外科	1診	寺田	浅野	目黒	西野	廣常
	2診	西野	目黒	廣常	寺田	浅野
泌尿器科	初診	1診	荒巻	三枝	別宮	井口
	再診	2診	井口	江原	荒巻	三枝

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
神経内科	1診	好永	好永	神崎	神崎	神崎
	2診	田中	田中	田中	好永	長尾
	3診	土肥	長尾	長尾	土肥	土肥

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
精神神経科	4診	福本	岸本	和田	福本	和田
	5診	和田	福本	岸本	矢守	岸本
	6診	矢守	矢守	岩本	岩本	岩本

# かがやき

## 医療支援センターの活動を紹介します



平成18年4月、「医療支援センター」を開設しました。以前から、医療連携室での「外来受付の事前予約システム」や総合相談室での福祉サービスの相談援助など、診察室以外での患者さまのサポートを行う業務がさまざまな部署で行われていました。

地域医療機関との連携業務、相談業務などは直接の医療行為ではありませんが、安全で安心できる医療を提供するために重要な役割を担っています。そこで、これらの業務がより円滑に機能できるように体制を強化し、さまざまな部署を統括した「医療支援センター」が誕生しました。現在6つの部門があります。

- 1 地域医療連携室**  
二つの大きな役割があります。まず一つは、当院を初めて受診される方のお手伝いです。従来、初診の場合には診察まで長い間お待ちいただくことがありました。そこで、かかりつけ医から事前に紹介状をFAXで送っていただくシステム（「外来受付の事前予約システム」）を作り、病状に応じて担当の医師をあらかじめ選ぶとともに、診察日と時間を予約できるようになりました。このシステムにより、初診の待ち時間が短縮されています。二つ目は、退院の支援です。退院が可能となった方に、自宅への退院の支援や、自宅での療養が困難な場合などには、ご家族とも相談しながら他の医療機関や施設への転院の支援をします。
- 2 がん診療相談室**  
平成18年8月「地域がん診療連携拠点病院」に指定されたことを受け、今年4月に新たに設けられたがん専門の

相談部門です。他の部門と連携しながら、がんに関する全ての相談を受け付けます。

**3 (生活・福祉) 総合相談室**  
医療費や生活費、職場復帰や退職に伴う問題、治療上の不安や悩み、さらに社会保障、福祉制度や介護保険の利用などについて、安心して治療に専念できるよう専門の相談員が支援します。

**4 在宅支援室**  
人工肛門など、ストーマを造設されている方の、セルフケア、器具選択、スキンケアの実際について指導や支援をします。また、在宅生活へ向けて在宅完全静脈栄養の方法についても支援します。

**5 医療安全対策室**  
医療事故を未然にふせぎ、安全・安心の医療を提供するため、安全管理に関することを扱っています。

**6 診療情報管理室**  
従来は、カルテやフィルムの管理を主に担当していました。電子カルテを導入した現在では、カルテを充実させるための評価、分析が業務の中心です。

次号では、「がん診療相談室」、「(生活・福祉) 総合相談室」の活動を紹介します。患者さまやご家族に上手に利用していただけるきっかけになればと思います。



在宅支援室スタッフ 地域医療連携室、がん診療相談室スタッフ

### 外来診療のご案内

**診療受付時間**  
午前8時30分～午前11時00分  
\* [眼科] 火曜日・木曜日 午前10時00分まで

**休診日**  
土曜日、日曜日、祝祭日、8月6日、年末年始(12月29日～1月3日)

**紹介状持参のお願い**  
初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか1,570円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

### 基本理念

広島市の中核病院として、患者さまの立場を尊重し、質の高い医療を提供します。

～基本理念実現のための3つの柱～

1. 患者さまの立場を尊重し、信頼され満足される医療を提供します。
2. 地域医療機関との連携のもとに、急性期医療を中心に高度な医療を提供します。
3. 健全な病院運営に努め、良質で安全な医療を提供します。

診療科レポート 東棟3F

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

確かな技術、そして他科との緻密な連携。当科では、初期治療からリハビリまで、常に患者さまにとって最適最良な医療の提供に努めています。

広島市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科では耳鼻科と聞いて思い浮かぶ耳や鼻の疾患のほか、甲状腺腫瘍など、脳と眼を除いた首から上の腫瘍性疾患(しこり)を扱っています。外来診療のほか、手術件数は年間1,300件、手術室では600件を越えています。

## 中耳炎・難聴の治療

中耳炎は、まず薬で治療するのですが、慢性化すると手術を行わないと治らない場合があります。当科では慢性中耳炎などに年間90例の鼓室形成術を行っています。手術件数も全国有数ですが、聴力の改善など手術成績も他の施設に比べ良好であると自負しています。可能な方には入院をせずに行える日帰り鼓膜形成術を積極的に導入し、社会のニーズに応えています。また、補聴器使用でも十分な聞こえが得られない高度難聴の方に対しては、耳内に電極を挿入し、聞こえを取り戻す人工内耳手術にも今後取り組んでいく予定です。

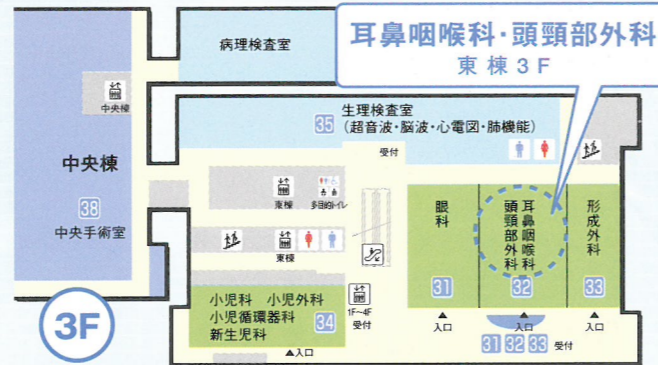


## アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎の治療

アレルギー性鼻炎は今や国民病といわれるまでの高い有病率になっています。鼻閉などのわずらわしい症状に対し、日帰りレーザー手術を行い、鼻閉については9割の方が改善しています。また、副鼻腔炎(蓄膿症)は鼻閉や、鼻汁などわずらわしい症状を呈します。中には、手術が必要となる方がおられますが、体への負担が少なく、回復の早い内視鏡下手術を年間100例行っています。

## のど、首のしこり

喉頭がんは、声を出す声帯近くにできる疾患です。腫瘍が小さいうちは放射線治療で治すことができます。



大きくなってくると、以前は声帯も取り出す手術を行い、声を失っていたのですが、今日では声帯を残したり、人工的に作ったり(再建術)することで発声機能を温存できる場合があります。しっかり「がん」をやっつけることと、機能を温存するという相反する事柄の両立を、放射線科、形成外科、外科、心臓血管外科などと協力することで追求しています。

## 充実した検査、リハビリ体制

当科には2名の言語聴覚士が在籍しており、検査、リハビリを担当しています。一般的な聴力検査だけでなく、新生児でも行える先進的な聴性定常反応(ASSR)検査や電気眼振計を用いためまい検査、嗅覚、味覚などの検査を行っています。また、脳卒中などでおこる失語症の言語訓練や嚥下訓練など、患者様がいかに社会生活に復帰していただくかを主眼にリハビリを行っています。



耳鼻咽喉科スタッフ  
後列左から 野田医員、江草副部長、堀医師  
前列左から 綾田部長、井口主任部長

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は市民の皆様の健康回復のために症状に応じた最良の治療を行い、最適な医療を提供できるよう、常に新しい取り組みをおこなって行きます。

## ましごと 拝見!

●部門紹介●

# 看護部 シリーズ8

この度の病院増改築では、東・西病棟の各病室に洗面・トイレが設置され、患者さまの自立をより支援できるようになりました。また、機械浴室が院内に3室整備され、寝たままの入浴がスムーズに行えるようになり喜ばれています。また、以前は廊下に物が置かれて、患者さまの歩行が妨げられるということもありましたが、物品の収納場所を整備したことで、安全で見



東・西病棟では、ナースコールが看護師のPHSに連動しました。患者さまのコールが廊下でもキャッチできるようになったことはとても嬉しいことです。

通しの良い廊下にするのが出来ました。このように、患者さまに少しでも快適な環境で入院生活をおくっていただけるよう改善が行われるなかで、看護師はより一層やさしい看護に取り組もうと心新たにしています。

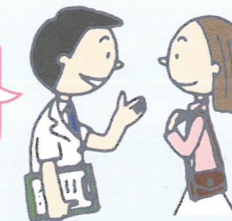


西病棟は本年2月にリニューアルオープンしました。広島城を望むデイルームでは友人家族とくつろぎの一時を過ごしていただいています。

## 臨床検査部

シリーズ1

ご存知ですか? 臨床検査



### ◆ 臨床検査とは

からだから排出される便や尿、からだを流れる血液や髄液、またからだを作っている細胞・臓器などを検査する検体検査と、からだの臓器の状態を物理的に捉える生理検査があります。みなさんが受診されると、その症状にあわせて色々な検査が行われます。臨床検査は病気の診断・治療や、早期発見や予防に、なくてはならない医療の手段です。この臨床検査に携わっているのが、国家資格をもつ臨床検査技師です。当院では、53名の臨床検査技師が「迅速」「正確」「安全」をモットーに、それぞれの専門分野に分かれて業務を担当しています。



### ① 血液検査とは

血液の中の赤血球や白血球の数などを計測したり、どんな種類の白血球が増えたり減ったりしているかを観察します。また、手術などの前に血液が止まりやすいか出血しやすいかなどを調べる、止血検査などがあります。

### ② 生化学検査・免疫検査とは

血液の血清(黄色く見える液体)のなかに、どんな成分が、どれだけ含まれているかを測定する検査です。

### ③ 生理検査とは

心電図、脳波、肺機能、超音波検査など、直接患者さまに対して行う検査です。

### ④ 細菌検査とは

感染症などの原因を調べる検査です。

### ⑤ 輸血検査とは

血液型など輸血のための検査をします。



それぞれの検査について、次回より3回シリーズでご説明します。